

「膵頭十二指腸切除後腹腔内出血に対するアンケート調査」

1. 研究の対象

2009年1月1日から2018年12月31日までに、当院において膵頭十二指腸切除術を行った患者さん

2. 研究目的・方法

膵頭十二指腸切除術後の腹腔内出血に対する早期発見法と治療法に対する最も良い方法を見出し、術後の死亡率を低下させることを目的とする。

研究期間： 承認日～2025年3月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

手術前後の治療に係る診療情報等

(氏名、生年月日、住所、電話番号など個人を特定する情報は含まれません。)

4. 外部への試料・情報の提供

この研究に使用する情報は匿名化処理を行い、患者さんの氏名やカルテ番号、住所などが特定できないようにした上で研究代表機関である九州大学大学院医学研究院 臨床・腫瘍外科学分野に提供させていただきます。

5. 研究組織

研究責任者 九州大学大学院医学研究院 臨床・腫瘍外科学分野
中村 雅史 (教授)

研究協力機関 日本膵切研究会施設会員 175 施設

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究責任者： 川崎市立川崎病院 内視鏡センター
所長 相浦 浩一

住所：川崎市川崎区新川通 12-1

[TEL:044-233-5521](tel:044-233-5521)（代）

-----以上